



みどりの風



令和8年2月20日発行

「克學克遊」

校長 塩津 一弘

寒波の厳しさを突き抜けるように、イタリアから熱い歓喜の声が届いています。現在開催中のミラノ・コルティナダンペッツォ冬季オリンピックでの氷上や雪上で限界に挑むアスリートたちの姿は、私たちにことば以上の感動を与えてくれています。

そのトップアスリートの姿に、本校校長室に掲げてある「克學克遊」ということばが重なります。まさに「克（よ）く學び、克（よ）く遊べ」。このことばは、「学ぶときは雑念を捨てて学問に打ち勝ち、遊ぶときは心ゆくまで楽しみ尽くす」。つまり、何事に対しても中途半端ではなく、自ら主体的に、全力で向き合う姿勢を説いています。

オリンピック選手たちも同様です。彼らは過酷なトレーニング（克學）に継続して取り組む一方で、競技そのものを心から愛し、楽しむ（克遊）心を持っています。緊張感あふれるスタートラインで、ふと見せる笑顔や競技後の清々しい表情。それは、やるべきことをやり遂げた者だけが手にできる「真の遊び心」ではないでしょうか。

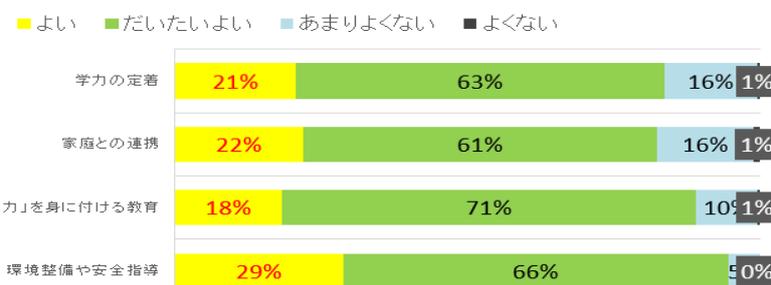
みなさんも同様で、日々の学校生活もそうですが、自分の好きなこと熱中しているものに、どれだけ取り組んでいるでしょうか。そして、その熱中しているものをどれだけ大切に、全力で楽しめているでしょうか。この「克學克遊」のメリハリこそが、みなさんという人間を一回りも二回りも大きくしてくれると考えます。

ぜひ、オリンピックアスリートのような「克學克遊」の姿を体現し、多くの方々に感動を与え、自ら輝ける、そんな最高の重富中生であることを願うとともに応援します。「克學克遊」の書を見たい方は、遠慮なく校長室へお越しください。



保護者アンケート結果

1月に実施した保護者アンケートの結果をお知らせします。



○「学力の定着」については、「よい」「だいたいよい」が昨年同様84%でしたが、「よくない」が1%ありました。来年度も引き続き、学習に関して、基礎の定着、家庭学習の充実、見取りなど手立てを講じてまいります。

○「家庭との連携」については、「よい」「だいたいよい」が前回より10%上がりました。PTA や県民週間、各種行事等に

多くの保護者に来校していただく機会があったことや、ブログや学校だより、学級通信等での情報発信も効果があったと考えています。今後も、学級・学年・学校と家庭が協働しながらできる手立てを思案していきます。

○「4つの育てる力の教育」については、「よい」「だいたいよい」の結果が昨年度より4%上がりました。来年度も「人を大切にする力」「自分の考えをもつ力」「自分を表現する力」「チャレンジする力」を教科指導や学校行事等で育てていきます。

○「環境整備や安全指導」については、95%が「よい」「だいたいよい」以上という結果でした。今後も家庭と連携を取りながら注意喚起を行っていきたいと考えています。

また、保護者の皆様から、夏休み前の三者面談につきまして多数のご意見をいただきありがとうございました。これからの教育活動に生かしていきたい思います。今後とも本校教育活動への御理解と御協力をお願いします。